

会 議 録

会議名	平成 29 年度第 1 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 29 年 5 月 23 日(火)午後 6 時 30 分～8 時 30 分	
開催場所	八王子市郷土資料館 集会室	
出席者	委員	小野一之、磯部剛久、小此木正貴、柿崎博孝、数馬広二、國方則和、黒澤美代子、佐々木幹夫 (50 音順)
	事務局	叶清こども科学館長、中野みどり郷土資料館長 (文化財課長)、森融こども科学館専門幹兼主査、尾崎光二郷土資料館担当主査、中村善行郷土資料館担当主査、河津美穂子郷土資料館担当主任、佐藤友紀郷土資料館担当主事
欠席者	鎌倉佐保、佐藤栄子	
議 題	協議事項 1. 平成 28 年度八王子市こども科学館及び郷土資料館施設評価について 2. 平成 28 年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業実施状況について 3. その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	0 名	
配付資料名	会議次第 平成 28 年度こども科学館施設評価 平成 28 年度郷土資料館施設評価 平成 28 年度こども科学館事業実施状況 平成 28 年度郷土資料館事業実施状況	

—開会后、特別展示室へ移動し、特別展「学芸員のおすすめ！蔵出し収蔵品展」について河津郷土資料館担当主任の解説で見学。

見学後、会議室へ戻り議題（1）平成28年度八王子市こども科学館及び郷土資料館施設評価について、議題（2）平成28年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業実施状況について、森こども科学館専門幹兼主査、佐藤郷土資料館担当主事よりそれぞれ説明。—

—質疑応答—

黒澤委員 特別展等の満足度について、アンケートで良くなかったと答えた方はどのような点が良くなかったと答えているのかはわかりますか。

佐藤主事 良くなかった意見では「館内が暗い」や「駅から遠い」、「キャプションの字が小さい」などの意見がありました。良くなかった意見に関しては、期間中に対応できる部分については速やかに対応しています。

黒澤委員 展示の内容についての不満足等はありませんか。

佐藤主事 不満足につきましては例を挙げると直近の特別展「掘りおこされた八王子の歴史」にて「対象とする年代の範囲が広く、個々の時代の内容をもう少し深く掘り下げてほしい。」等の意見がありました。

小此木委員 郷土資料館の施設評価について、昨年度は入館者や講座参加者が増加した点からみても、今回の達成度の評価は厳しすぎるように感じます。今までもこのような基準で評価してきたのでしょうか。

柿崎会長 目標値と実績からみた達成度について、その評価基準等の設定について説明してください。

佐藤主事 施設評価の評価基準の設定につきましては、今までは目標値と実績値を比較するにとどまり、達成度の評価について増減率による設定基準を設けておらず評価基準が曖昧であるという意見もあり、今回の施設評価より達成度の判定基準として目標値に対する実績値の増減率によって判断する基準を設けた次第であります。そのため、目標値を上回る実績があったにもかかわらず、最高評価には達しない評価となった項目もあります。

小此木委員 入館者数の増加は特別展の実施等、館側の努力の結果であると思いますので、やはり高く評価すべきだと思います。

尾崎主査 直近の入館者数では平成26年が一番少なく、それに比べ

	<p>ますと、入館者は2千人ほど増加しております。しかし文化財課において、平成32年度における八王子城跡ガイダンス施設および絹の道資料館を含めた文化財関連施設の入館者数の目標の中で、郷土資料館は約3万人を目標としており、それを鑑みると最高評価をつけるには現段階では時期尚早と考え、本評価とした背景もあります。</p>
小野委員	<p>自己評価というのはいわゆる他人より控えめに評価するようなものではなく、現状に対して満足しているのかを評価するものであるため、今回の資料館の自己評価は資料館が現状に満足せず、更なる努力を進めるという意思の表れとしてみれば良いと思います。</p>
柿崎会長	<p>評価に至る背景や理由をより詳しく明記すると受け手も理解しやすいと思いますので、今後は心掛けてください。</p>
礒部委員	<p>資料館のトイレについて、先日、資料館を訪れた際に感じたのですが、最近の公共施設のトイレに比べ、施設が古いこともあり、部屋全体の雰囲気は暗く、来館した子どもが怖がっておりました。新博物館の完成まで年数がある中、現資料館でのトイレの全面改修等を実施する予定はないのでしょうか。</p>
中野館長	<p>現在の資料館の設備等につきまして、今後新博物館ができる予定のある現状では、既存の設備をなるべく活かして運営する方針で進めております。そのため大規模な改修工事等の実施よりも照明の調整等で工夫をしているのが現状です。</p>
礒部委員	<p>新博物館の完成時期が未定である以上、古く暗いイメージを払拭できるような手段をできる限り実施していただくことを願います。</p>
國方委員	<p>2点確認させてください。1点目は評価の反映につきまして、郷土資料館は一部未実施の部分があるという評価で理解できますが、科学館は全て実施したという評価となっておりますが、どのように全て反映できたか教えてください。2点目は郷土資料館の博物館実習について、実習生からの感想に、「座学では学習できない経験ができた。」とあるが、具体的にどのような内容を実施しているのか教えてください。</p>
森主査	<p>評価の反映について、科学館では講座について委員より講座のやり方や内容の改善案をいただき、いただいた改善案を講座に反映し、その結果、受講者の増加にもつながったため、</p>

	<p>本評価といたしました。</p>
河津委員	<p>実習につきましては、資料館での博物館実習では実物史料を実習に取り入れる点が大きな特徴であります。他の博物館では座学の延長やレプリカのみの実習が多く、実物資料を使った取り扱い等の実習は学生に好評です。また実習期間中に体験学習等のイベントが行われる場合には、実習生をスタッフとして参加させるなど、館の運営に関連させた実習を実施しております。</p>
小野委員	<p>今回の特別展「蔵出し収蔵品展」の感想ですが、今回の展示は面白い企画だと思いました、特に良かった点は、博物館の本来の目的である「モノ」からスタートしている点です。過去の特別展ではテーマ先行型が多く、テーマに沿って「モノ」を検討した結果、「モノ」の数が足りず、写真資料と「モノ」を同等の展示として扱う事例もありましたので、今回の展示はいわゆる「モノ」に語らせる展示として非常に良いと思いました。今回のような方向性を新博物館でも続けてほしいと思います。最後に質問ですが資料館の資料収集方針について、基準や規定等の明文化の有無について教えてください。</p>
河津主任	<p>収集につきましては内規で定めており、八王子で使われたもの、ゆかりのあるもの、同等の資料が資料館に所蔵されていないもの等の収集基準を定めております。また、劣化がしやすいものや所蔵品よりも状態の良いものにつきましては複数の受け入れをする場合もあります。</p>
小野委員	<p>わかりました。収蔵スペースにも制限があると思いますが今後とも資料収集を続けてください。</p>
柿崎会長	<p>収集方針等をホームページに掲載するなど、市民の方へ広く周知することも必要かもしれません。また資料館では2月にバックヤードツアーの参加者を募集したようですが、実施したのでしょうか。</p>
河津主任	<p>2回実施いたしました。こちらは市の広聴課主催で行われた事業のため、資料館の事業実施報告には掲載しておりません。</p>
尾崎主査	<p>補足いたしますと、このバックヤードツアーは広聴課が例年実施している施設めぐり事業の一環で、通常は見学のみですが今回は市民からの意見を聞くというコンセプトで実施されました。そこで新博物館の基本構想・基本計画検討の参考</p>

	<p>として、現状について市民からの意見を聞く目的で広聴課と連携した背景があります。</p>
小此木委員	<p>市史編さん室の収集した膨大な資料の数々について、市史編さん室が解消された後、その資料は資料館に一本化されるのでしょうか。</p>
中野館長	<p>基本的には市史編さん室の資料は資料館に引き継いでいく予定です。引き継ぎについては現在市史編さん室と調整中です。</p>
磯部委員	<p>地域の企業や大学との連携について科学館では具体的にどのような取り組みを実施しているのでしょうか。</p>
森主査	<p>大学との連携については首都大学東京や工学院大学と連携し、子供向けの化学実験教室・工作教室・講座を開催しております。</p>
叶館長	<p>その他の連携としては、JAXA 関連団体の「こども未来宇宙の会」と協力し、「宇宙の学校」を開催しております。本事業は、宇宙に関する講座、物理・科学に関する工作・実験教室という内容で、3会場で年12回開催しており、概ね年200組程度の親子が参加しております。また、本事業は企業の協賛も受けており、市民団体や大学とも共催して実施しております。特に大学の協力は大きく、会場の確保や学生ボランティアの派遣などの協力をいただいております。学生ボランティアの中には教職を目指す学生もおり、教育実習とは異なる形で子どもや保護者と接することができ、学生からも好評です。</p>
柿崎会長	<p>非常に良い取り組みですので、ぜひ年報等で報告し、本活動の記録を残してほしいと思います。</p>
数馬委員	<p>このような企画をぜひ市内の大学生に強くPRする必要があると思います。ホームページなどを活用し多くの学生の目に触れ、学生が館に足を運ぶような流れを生み出せばと思います。また学生の中には当然留学生もいますので、外国語表記や外国人対応も今後の課題として必要だと感じます。PRに関してですが、例えば垂れ幕や横断幕など目につく存在感を示す看板の設置なども検討してはいかがでしょうか。</p>
中野課長	<p>今年度から横断幕の設置や特別展・企画展開催期間中ののぼり旗を設置するなど行っておりますが、様々な方向からのPRを考えていきます。</p>

	<p>数馬委員 ホームページに関しても最近では各大学独自に在校生向けの学内メールシステムを構築している大学も多く、大学側にイベント情報のPRを依頼するなどの方法もあると思います。</p> <p>柿崎会長 他に意見がないようでしたら、次の議題に移ります。</p> <p>—議題（3）その他について叶館長よりこども科学館のリニューアル工事の進捗状況、内覧会・式典の実施日程、利用料金アンケート結果・今後の展開について報告。—</p> <p>—質疑応答—</p> <p>柿崎会長 意見等ないようですので、報告事項について事務局よりお願いします。</p> <p>—中村主査より次回開催日程および今後の資料館の特別展開催情報等を報告—</p> <p>—質疑応答—</p> <p>小此木委員 協議会の開催時間につきまして、夜間の開催が多い傾向があります。それぞれ都合等あると思いますが、一度日中の時間帯での開催も検討してみたいはいかがでしょうか。</p> <p>叶館長 開催日につきましては委員の出席人数が最も多い日を開催日として決定いたしますので、委員の皆様の日程が合えば日中の開催も可能かと思えます。</p> <p>柿崎会長 他に無いようでしたら平成29年度第1回博物館協議会を終了したいと思います。ありがとうございました。</p>
--	--